

日本社会情報学会 (JSIS) ニュース

第45号 2012.1.24

日本社会情報学会 (JSIS) 事務局

〒737-0182 広島県呉市郷原学びの丘1-1-1
広島文化学園大学社会情報学部今田研究室気付
TEL 0823-70-3300 FAX 0823-70-3311
e-mail : s-info@hbg.ac.jp
URL : <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsis/>

日本社会情報学会 (JSIS) 会費等振替口座 (ゆうちょ振替口座)

- ・口座名 日本社会情報学会
- ・口座番号 00140-2-763005
- ・口座住所 〒181-0012 東京都三鷹市上連雀1-12-17
三鷹ビジネスパーク SOHOプラザA-301
会費・和雑誌受領担当 和泉恵子
- ・e-mail : desk@NPOicom.com

- I 統合について
- II 研究発表優秀賞について
- III 編集委員会から
- IV 研究委員会から
- V 2012年度研究大会の案内について
- VI ウェブの移行について
- VII 事務局から

I 統合について

新学会 一般社団法人「社会情報学会 (SSI)」の設立に向けて

日本社会情報学会 (JSIS) 会長 伊藤 守

会員の皆様へ

1. 新学会の発足に向けて

これまで検討を重ねて参りました新学会「社会情報学会 (SSI) の設立」は、12月の理事会において、最終的な定款案を会員の方々に公開して、広く会員の皆様からパブリックコメントをいただき、そのご意見をふまえて新学会設立に大きな問題がないことが確認されれば、2月に設立するという事で承認されました。

日本社会情報学会 (JSIS) は、1996年4月に約300名の会員が賛同して発足しました。インターネットがようやく

社会に浸透し始めた時期のことです。それから、16年が経過しましたが、初代会長の田中一氏、高木教典氏、田崎篤郎氏、阿部圭一氏、黒須俊夫氏と続いた歴代会長の下で、会員皆様の学会活動を通じて学会は大きく発展し、現在460名に及ぶ会員を擁するまでになりました。

本学会は、情報現象に関する理論的・哲学的な探究を深化させながら、社会情報現象に関する多面的・多角的な実証研究を精力的に行ってきた点に、その特徴を有しています。この学会の伝統をさらに発展させることを目指して、日本社会情報学会（JASI）とともに、新しい学会「社会情報学会（SSI）」を設立することを目指しています。技術革新にもとづく社会情報現象の多面的で、しかも複雑な様相を、学問的に探究する必要性と重要性が格段に高まっているためです。

一般社団法人「社会情報学会（SSI）」の設立は、必ずやこの分野の学問的発展と社会的な要請に応えるものであると確信しております。また、会員にとっても、国際的な研究活動への援助、海外の関連学会との研究交流や連携強化、学会誌の発行回数の増加、研究活動の活性化など、さまざまなメリットが得られるものと考えています。

2. 定款の最終案へのご意見をお寄せ下さい

定款の中間案に関する会員の方々からのコメントをふまえて、最終の定款案を作成いたしました。この定款案とともに、社会情報学会役員選出規則案、社会情報学会評議員選挙規則案、を公開し、会員の皆様からのご意見をいただきたいと思っております。期限は、1月31日までといたします。短期間ではありますが、ぜひともご意見をお寄せ下さい。

新学会の組織の骨格

すでに定款の中間案で説明しておりますが、新学会の設立による学会組織の主要な変更点は、以下の通りです。

1. 学会の意思決定機関は、会員から選出された「社員＝評議員」による社員総会となります。
2. ただし、従来の会員総会も、学会大会時にこれまで通り開催し、会員が意見や要望を述べる場を設けます。
3. 学会の役員は、会員による選挙で15名の理事候補者と1名の監事候補者を選出、その他に地域や学問分野等を考慮して、役員候補者推薦委員会から推薦された10名の理事候補者と1名の監事候補者を、社員総会において選任する決議がなされることで決定されます（合計で25名の理事、2名の監事から構成されます）。

3. 新学会の設立までのスケジュール

1. 会員の意見を聴取し、最終の確認を2月18日の理事会で行います。
さらに、この理事会で新学会の発足を承認します。
2. 法務局への設立登記は2月27日におこなう予定です。
この日が、新学会の設立日となります。
3. 3月4日に設立社員総会、第1回理事会を開催します。

4. 新学会の役員選出、会長の選出

1. 学会を設立するためには、社員ならびに役員の名を明記した定款を法務局に提出する必要があります。
2. したがって、学会が正式に発足前に、役員（理事、監事）を選出することが求められます。そのため、2つの現学会から理事候補者をそれぞれ11名、監事をそれぞれ1名、会長が推薦し、内諾の得られた方（合計で理事22名、監事2名）に新学会の役員を務めていただきます。
3. 会長は、この理事候補者22名による選挙によって選出されます。その際、現在統合に向けて活動している「移行部会」が「選挙管理委員会」となり、選挙を実施することになりました。

5. 会員の新学会への移行

1. 会員は、新学会の成立の日をもって、一般社団法人「社会情報学会（SSI）」に対して入会の申し込みがあり、理事会の承認を受けたものとみなします（つまり、自動的に、新学会へ入会したものとみなします）。
2. ただし、平成24年12月10日までに、この法人の会員にならない旨に意思表示をした者は除きます。

II 研究発表優秀賞について

2011年9月11日、18時30分より、下記の選考委員メンバーにより、本大会での研究発表賞を選考した。

- ・選考委員(敬称略)

JSIS 黒須俊夫・柴田邦臣・服部哲

JASI 廣松毅・五藤久樹・櫻井成一郎

- ・研究発表賞

JSIS

- ・曾我千亜紀(愛知県立芸術大学—非常勤・院生) 情報社会論6
「ハイパーテキストの能動的レクチャー—編集から情報創造へ—」
- ・那須田悠貴(静岡大学大学院情報学研究科) 企業・産業・経済情報2
「景況感の推移における予測値と観測値、および業績値の連関に関する探究的解析」

JASI

- ・趙章恩(東京大学大学院) 企業・産業・経済情報3
「モバイルサービスにおけるネットワーク効果と会苦システム—韓国モバイルインターネット活性化政策を事例に—」
- ・森やす子(お茶の水女子大学) 情報社会論2(高齢化)
「ICTによる高齢者孤立化防止の試み—モデル構築と社会実験について—」

Ⅲ 編集委員会から

2011年度編集進捗状況

<和雑誌>

■第15巻2号 発行済み

○大会講演原稿 1本

○投稿「原著論文」5本

○投稿「研究」3本

■第16巻1号 2月末発行予定

○投稿「研究」6本掲載予定(うち1本は第15巻2号からの先送り)

○1本は第16巻2号へ先送り

○特集企画「社会情報学と隣接研究領域(2)」への寄稿論文3編の入稿待ち

→今月中に入稿があれば今号に掲載予定

・辻泉会員「メディア文化論と社会情報学(仮)」

・大江宏子会員「経営学と社会情報学(仮)」

・岩佐淳一会員「アジア研究と社会情報学(仮)」

■第16巻2号 4月以降で新学会誌発行前に発行予定

○投稿論文全7本

・1本は投稿要領違反のために受け付けず、6本について査読もしくは査読中。

・「原著論文」1本は掲載確定

○第16巻1号からの先送り「研究」論文は掲載予定

○学会大会の特別講演・シンポジウムなどの記録を掲載予定。

<英文雑誌>

■“Journal of Socio-Informatics”の Vol. 4, No. 1を刊行

Vol. 5, No. 1は、投稿論文11編について現在査読中

Ⅳ 研究委員会から

関東地区研究例会として、下記の2つが企画されております。特に、(1)は、2011年3月に企画されたものの、大震

災を受けて延期されていたものの復活版です。終了後、若手研究者を中心とした昼食・懇親会も企画しております。

学会合併後の社会情報学、そして若手研究者支援を見据えた、新しいスタートの一助となれば幸いです。
みなさまお誘いあわせのうえ、ぜひご参加ください。

(1) 関東地区研究例会

『情報化による再編成と社会情報学の基礎論— 知識・空間・社会 —』

日時：2012年2月19日（日） 10：00～12：00

会場：未定（東京都心の大学を予定）

参加費：無料（懇親会は各自負担）

参加申込・お問い合わせは、若手研究者支援部会・柴田 (k.shibata@otsuma.ac.jp)まで。

テーマ：

昨年2011年は、「情報社会」がはじめて、その存在意義を根底から問われた年であったといえよう。本邦の3月11日の大震災でも、彼方のジャスミン革命でも、Facebook、twitterやgoogleとそのユーザーは、常にキープレーヤーであり続けた。日々私たちが生き続ける社会が、歴史的イベントの中で良くも悪くも本領を発揮するありさまは、情報化が私たちの社会、空間、そして知のあり方そのものに、地殻変動を起こしうることを予見させている。

もっとも、それらの空間や知の再編成は、私たちの日常生活そのものに遍在している。たとえば書籍の電子化は単に本がデジタルになっただけでなく、私たちの知の構造の本質的变化を意味しうる。GISやfoursquareといった地理情報・位置情報サービスは、空間やその中での移動という行動そのものの意味が変容していく過程かもしれない。そのような変動の基底部分を読みとくような、社会情報学の基礎論的な試みこそが、求められているのではないだろうか。

この研究会では、社会情報学の理論的な旗手を迎えた基礎論的な話を縦軸とし、デジタルの潮流に詳しい第一人者からの話題提供を横軸とし交差させることで、地殻変動の基底部に掘り進めていくような議論をめざしたい。なお本研究会は本来、2011年3月に若手研究者主体で企画されつつも、震災の影響で延期してしまったものの“復興版”である。社会情報学と、そして日本の学術復興の未来を担うような、若手研究者・院生の方々の積極的な参加を期待している。

報告者：

大黒岳彦（明治大学情報コミュニケーション学部）『「情報社会論」再考 —知・コミュニケーション・コミュニティ—』

植村八潮（東京電機大学出版局） —テーマ・電子書籍—

ほか

コメンテータ：正村俊之（東北大学文学研究科）

(2) 関東地区研究例会・Glocom研究ワークショップ共催

関東地区研究例会では、共催として下記のワークショップを企画しております。

ぜひご参加ください。

参加申込・お問い合わせは、柴田 (k.shibata@otsuma.ac.jp)まで。

『被災地支援から考える情報技術の応用可能性～宮城県山元町「思い出サルベージアルバム・オンライン」を事例として～』（日本社会情報学会(JSIS) 関東地区 共催)

日時：2012年1月27日 15:00～17:00

場所：国際大学グローバル・コミュニケーション・センター

（東京都港区六本木6-15-21ハークス六本木ビル2F）

地図：<http://www.glocom.ac.jp/access/>

講師 柴田邦臣（大妻女子大学社会情報学部）

V 2012年度研究大会の案内について

2012年度の研究大会は群馬大学荒牧キャンパス（前橋市）で開催する方向で検討しています。後日正式にご案内いたしますが、日程は9月14日（金）～16日（日）となる予定です。

VI ウェブの移行について

学会Webの移行について

神奈川工科大学 服部哲

2012年2月の社会情報学会（SSI）の設立に向けて、JSISとJASIの両学会のWebサイト担当者同士で新しい学会のWebサイト（ホームページ）の構築について議論している。

これまでの検討の結果、新しい学会のWebサイトは、JASIのレンタルサーバで運営するサイトをベースに修正し構築することになった。トップページをJASIで検討し、学会のロゴをJSISで作成することになっている。英文ページについては充実を図る方向で検討している。またこれまでに、ドメインを「ssi.or.jp」として取得した。

新しい学会のWebサイトには、これまでの両学会の学会誌、学会通信、学会賞、イベントをアーカイブとして保存する。JSISはこれまでの全ての情報を何らかの形で残す方向で移行作業を進めている。また、ただ単に必要なファイルを移行するだけでなく、よりよい学会サイトを目指し、コンテンツ管理システムの導入など精力的に検討している。

検索エンジンについては各会社に経緯を説明し新学会として登録し、両学会の解散を連絡する予定である。

なお、JSISでは神奈川工科大学の服部研究室を中心に移行作業を進めており、その際にアンケート調査にご協力いただきましたことを、この場をお借りしまして感謝いたします。

VII 事務局から（お願い・ご連絡）

VII-1 新学会（SIS）社会情報学会理事・監事

今年度中に発足する新しい学会、社会情報学会（SIS）設立時のJSISから就任いただく理事の方は以下の方々です。会員の皆様方にお知らせします。ご活躍を期待しています。

理事

伊藤 守（早稲田大学）

伊藤賢一（群馬大学）

栗川隆宏（広島文化学園大学）

黒葛裕之（関西大学）

是永 論（立教大学）

炭谷晃男（大妻女子大学）

高田 洋（札幌学院大学）

西垣 通（東京大学）

正村俊之（東北大学）

横山正人（長崎総合科学大学）

吉田 寛（静岡大学）

監事

藤井史朗（静岡大学）

VII-2 会員の入退会

2011年度退会 (23年9月9日～12月17日)

名前	会員種別		
中井 豊	正会員	1997年入会	2011年退会
張 静	学生会員	2009年入会	2011年退会
永野昌博	正会員	2008年入会	2011年退会
本間理絵	学生会員	2009年入会	2011年退会

2011年度入会 (23年9月9日～12月17日)

名前	会員種別	所属	推薦者
中俣保志	正会員	香川短期大学経営情報学科	岡田安功
堀川裕介	学生会員	東京大学大学院	橋元良明
河井大介	学生会員	東京大学大学院	橋元良明
磯部 大	正会員	(株)オーグス総研	事務局
若井充治	正会員	(株)佐賀新聞社	横山正人
柳瀬 公	学生会員	東洋大学大学院	島崎哲彦

VII-3 2011年度会計中間報告 (12月10日時点)

収入 5,412,745円

項目	(円)	備 考
2010年度繰越金	2,552,588	
会費	2,835,000	397名；納入率71% (未納者123名)
学会誌販売	25,000	25冊 (Vol.15, No.1, 2011)
利息	157	
総計	5,412,745	

支出 4,124,489円

項目	2011年度予算案 (円)	2011年度12月10日決算 (円)	2010年度決算 (円)
大会運営費	500,000	500,000	418,000
学会誌発行費	1,050,000	947,034	855,828
会誌編集委員会運営経費	1,000,000	0	337,740
ニュース発行費	20,000	31,500	16,800
研究委員会運営経費	300,000	198,160	233,300
学会賞 (含選考経費)	100,000	59,000	55,000
会費引落・振込手数料	15,000	12,319	16,213
理事会運営費	1,000,000	1,355,197	1,169,060
理事選出選挙経費	20,000	6,696	0
人件費	150,000	179,500	213,700
会費・名簿管理委託費	360,000	371,304	368,167
通信費	140,000	150,010	176,502
消耗品費	50,000	23,419	42,450
名簿作成費	10,000	0	0
年会費	0	290,350	0
予備費	1,001,636	0	45,500
	5,716,636	4,124,489	3,948,260

収支 1,288,256円

学会資産 (12月10日現在)	事務局管理ゆうちょ銀行口座	1,288,256円
	会費委託管理ゆうちょ銀行口座	495,160円
	会費委託管理三井住友銀行口座 (会費自動引落)	0円

VII-4 会費納入状況 (12月12日時点)

2011年度納入率71%（2010年度納入率84%）
納入会員397名、未納会員123名、減免会員5名、名誉会員8名
1年未納58名、2年未納18名、3年以上未納47名

VII-5 寄贈図書

■情報セキュリティの思想・インターネットにおける社会的信頼の創造

著者／ 小山昌宏

仕様・価格／ A5版197ページ ¥3,600円（本体）

発行／ 勁草書房

ISBN978-4-326-60236-0

■対話としてのテレビ文化一日・韓・中を架橋する

著者／ 岩渕功一編著

仕様・価格／ B5版285ページ ¥3,800円（本体）

発行／ ミネルヴァ書房

ISBN978-4-623-06072-6

VII-6 理事会議事録

第64回 日本社会情報学会(JSIS)理事会 議事録

と き：2011年12月17日（土）13:00～16:00

ところ：東京大学情報学環6階会議室

I 報告事項

1 編集委員会からの報告について

(1) 和文雑誌の編集進捗状況について

「社会情報学研究」の編集進捗について次のとおり報告があった。

- ・16巻1号については、6編の投稿論文のうち4編の掲載が確定し、特集企画3編を掲載予定である。
- ・16巻2号が「社会情報学研究」の最終号となり、その後は新学会の新学会誌に引き継がれる。本号に投稿された論文うち、継続審査となった論文は新学会誌で対応する。

(2) 英文雑誌の編集進捗状況について

“Journal of Socio-Informatics” Vol.4の編集進捗について、査読が最終段階に入り、6編の論文掲載を予定している。

2 JSIS ウェブの情報移行の現状について

安田副会長から、学協会情報発信サービスにおけるホームページ構築・提供支援の終了に伴い、JSIS Webサイトの新サーバーへの移行を検討している。現在、服部先生が中心となり、次のURLにデータ移行を進めている旨報告があった。 <http://ahattori-lab.sakura.ne.jp/wordpress/>

3 2011年度会計中間報告について

今田事務局長から、2011年度会計について中間報告があった。

- ・災害情報支援チームへの助成金を研究委員会運営費から支出した。
- ・統合作業部会が頻繁に開催されたため、理事会運営費の支出が予算を上回った。

4 会費納入状況について

今田事務局長から、12月時点の2011年度会費納入率が71%であり、これは2011年度よりも低い値であること、また、3年以上未納の会員が47名いることが報告された。

5 寄贈図書について

今田事務局長から2点の図書が寄贈された旨報告があった。

- ①「情報セキュリティの思想・インターネットにおける社会的信頼の創造」 小山昌宏、勁草書房
- ②「対話としてのテレビ文化一日・韓・中を架橋する」 岩渕功一編著、ミネルヴァ書房

6 災害情報支援チームからの報告について

吉田次期理事から災害情報支援チームが行っている支援の状況と今後の進め方について報告があった。

9月までは写真を洗浄することが主な仕事であったが、今後は「どのようにしてこの写真を町民に返すか」ということが問題となる。データベース化をしているので、顔認証などの技術を使用することなどを検討している。また、報告書の出版や学会誌への掲載も予定している。

II 審議事項

1 第63回理事会議事録（案）の承認について

第63回理事会議事録（案）が承認された。

2 第17回総会議事録（案）の承認について

第17回総会議事録（案）が承認された。

3 JSIS&JASI統合について

伊藤会長から、統合について次の6項目の提案があり、承認された。

①新学会定款案について

定款の最終案は、中間報告案と基本的に同じであるが、会員の種類に団体会員が加わった。

②各種規定について

会員規則、会費規則、委員会規則、評議員選挙規定、役員選出規定などの各種規定案がほぼ出来上がった。

③新学会登記時期

新学会 社会情報学会の設立登記を2月末日に行う。1月初旬に定款案を会員にメールで直接送付し、パブリックコメントを求める。2月の理事会において決定する。

④新学会設立時の役員について

設立登記までに新学会の設立時会長、設立時理事、設立時監事を決めておく必要がある。設立時理事については両学会からそれぞれ10名、設立時監事については両学会からそれぞれ1名をそれぞれの学会会長が推薦する。

⑤新学会理事会の開催時期について

新学会の第1回理事会を3月に開催し、定款等の決定を行う。

4 ブログで公開された論文の投稿について

橋本編集委員長から、次の提起があり、審議が行われた結果、下記の対処を行うことが承認された。

- ・提起内容：「社会情報学研究」第16巻2号に投稿された論文のうち1編の投稿論文において、同じ内容がインターネット上の個人ブログで公開されていることが明らかになった。これは、「投稿原稿は未発表のものに限る」という投稿要領の規定に違反する疑義が生じている。
- ・対処：投稿者に、投稿論文はすでに発表したものと異なる点を明記した上で再投稿するよう指示を行う。

5 会員の入退会

今田事務局長から、9月から12月までの入会者6名、退会者5名の提案があり、承認された。

6 次回理事会の日程について

次回理事会は、2月18日（土）14時から東京大学情報学環6階会議室で開催されることが承認された。